横浜市立 神橋小学校 学校評価報告書 (令和 4 ~ 6 年度)

重点取組 分野	令和 4		総括	重点取組 分野	令和 5		総括	重点取組 分野	令和 6		総括
73 ±1	具体的取組 a16①全学級にて「主体的・対話的な深い学びの具現	自己評価結果 ① 第数の授業を通して 子どもたち自身で課題を発見し		71 27	具体的取組 b1①教育課程全体で育成を目指す資質・能力の意	自己評価結果		73 ±1	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	化に向け、個を大切にし、日々児童が主体的に学ぶ 授業改善に取り組んでいく。②重点研究テーマ、「算 数1の研究を通して、自ら理解を発見し、主体的に問	友達や先生との対話から学び解決することができる学習を	А	生きてはたらく知	識をした具体的な授業づくりをめざす。そのために、 各学年のつながりを重視するために、研究会の進め			生きてはたらく知			
豊かな心	a17①インクルーシブな視点を意識できる研修を設け、一人ひとりが自己肯定感、自己有用感をてるように学校経営・学級経営できるような力を育成する。		В	豊かな心	b2①外部講師を招いた研修を計画し、職員の人権意識を高めていけるようにする。②互いの違い、多様性を認め合ったり、自己肯定感・自己有用感を高めたりし、誰もが安心できる学校経営・学級経営ができるような力を育成する。			豊かな心	c2		
健やかな体	18①日々の体育学習の充実を図るとともに、自分から運動に親しみ、体力向上に取り組む姿勢を育成する。②自ら生活習慣の改善、健康増進や健康な生活を送ろうとする意識と実践力を高めるため、食育や保健教育、学校保健委員会の充実を図っていく。	低学年では、運動が好きな子を育てるために、多様な運動 経験を意識的に行った。中学年・高学年では、自分のめあ てをもち、友達と見合いながら、技能を高めていく楽しさを 感じる授業の充実を担任が意識的に行うことができてい た。また、児童委員会活動による、食育や保健教育も年間 を通じて行った。	В	健やかな体	b3昨年度に引き続き、①日々の体育学習の充実を図り、運動を楽しみ、運動に親しむ子の育成を図る。② 児童委員会活動を通して、食育や保健教育、体力づくりの充実を図る。			健やかな体	c3		
協働的な学び	19(1)全学級にて「自ら課題を発見し 学び合いを通して 解決することができる 児童の育成」の具現化に向けて、受け身の姿勢で知識・技能を獲得するのではなく、自分から課題を発見し、その検護を解決するための方法を自分自身との対話・ものを使って・今までの経験を生かして、そして周りにいる人たちの力をかりて解決する力を育成する。②生活・総合の授業を通して、「まち」や「ひと」とつながりを活かした教育活動を展開する。	ス気はちを大切にした 一人で軽速できたいときけ 周りにいるも凌 数	В	協働的な学び	b4①地域で体験的に学ぶ機会を多く設ける。校内のボランティアや材一覧を活用し、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら、一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。②アンケートや自分作りパスポートを利用して、自分自身についての変や成長を自覚し、友達とも共有するなど他者理解に努める。			協働的な学び	c4		
いじめへの対応	③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を 推進する。	化に気が付きやすい体制を整えることができた。② 定期的ないじめ防止対策委員会を開催すると同時 に、毎週の打合せでの児童情報共有も行い、組織的 対応力を常に高めることができた。③基本方針に基 づき、保護者、関係機関との連携強化を図った。	A	いじめへの対応	委員会と兼用し、組織的対応力を常に高めておく。 ③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を 推進する。			いじめへの対応	c5		
組織運営(働き方)	a21①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって人材育成のための校内研修を行っていく。②2週に1回、教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や働き方改革委員との情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。	級に来る安や声を好けらり安か元られていた。アンテーテームの職員だけ でなく講師役のミドルリーダーの授業力向上にもつながった。 ②数務会や学年丰仟会の場でミドルリーダーの意見を吸い上げられるよ	A	人材育成・ 組織運営(働き方	b6①昨年度に続き、5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって 人材育成のための校内研修を行っていく。②教務会 及び学年主任会の前に、予めミドルリーダー等の意 見を吸い上げる機会を積極的に設け、ミドルリーダー 等が全体を通して学校運営していく場を設定する。③ ICTを活用した事務の効率化を図るとともに、全職員 の組織的な働き方改革につなげる。			人材育成・ 組織運営(働き方)	o6		
特別支援教育	a22①適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施していく。②チャレンジルームで個に合わせた指導を充実させ、個の特性を生かした学級経営を図る。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、学校全体の環境整備にあたる。	な連携、SCやSSWとの情報共有を図ることなどを通じ、適切な特別支援教育に向けて組織力を高めた。 ②チャレンジルームを活用し、個に合わせた支援を	A	特別支援教育	b7①適切な特別支援教育を行うために、関係機関との連携や研修を実施していく。②チャレンジルームで個に合わせた指導を充実させ、個の特性を生かした学級経営を図る。③教室、言語環境等においてユニバーサルデザイン教育を理解し、学校全体の環境整備にあたる。			特別支援教育	c7		
児童生徒指導	a23①「かみはしルール」を家庭・学校が共有し、指導・支援を行うとともに、子ども達の考えも取り入れた見直しも、代表委員会との連携の中でのていく。 ②教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全員に関わりながら指導にあたる。③打ち合わせ・職員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共通した指導・支援にあたる。	きた ②教科公扣 交換授業を全学在で宝施 学年児童	В	児童生徒指導	b8①「かみはしルール」を家庭・学校が共有し、指導・ 支援を行うとともに、子ども達の考えも取り入れた見 直しも、代表委員会との連携の中で図っていく。② 教科担任、交換授業を全学年で実施し、学年児童全 員に関わりながら指導にあたる。③打ち合わせ・職 員会議・校内委員会にて、情報交換を適時行い、共 通した指導・支援にあたる。			児童生徒指導	c8		
	a24①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を毎月 実施し、自分の命や安全を自分の力で守れるよう、 知識や判断力を身につけていく。②訓練の振り返りを 活かし、マニュアル等について、随時改善を行ってい く。	法、避難経路を体験させることができた。予告なしの 避難訓練では、それまで訓練で得た知識をもとに、自 分たちの判断で適切な行動をとることができていた。 ②訓練後は毎回職員からの意見を集約し、改善点に ついて協議した。	A	安全教育	b9①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練を毎月 実施し、自分の命や安全を、自ら守るための知識や 判断力が身につくような指導を充実させる。②交通安 全教室、高学年の着衣泳体験、校外学習での歩き方 指導など、様々な機会をとらえて、児童が安全に生 活できるよう指導していく。			安全教育	c9		
	a25①六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を取り開する。②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあいを通し、まちや人に親しみをもつことができるようにする。	取組や子どもの姿を情報共有し、地域全体で子ども を育てる意識を共有した。 ②生活科・社会科の学習で地域の歴史・六角橋商店 街・岸根公園等を学習に活かしてきた。教育サポー	В	地域学校協働活 動	b10六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な 運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する。②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を 学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的 な学習を充実させるとともに、多くの人とのふれあい を通し、まちや人に親しみをもつことができるようにす る。			地域学校協働活 動	c10		
ブロック内 評価後の 気付き	授業研では、「9年間で育成を目指す資質・能力を具体化し共有する」〜夢や希望・目標をもてる子どもを育成する〜をテーマに設定し、合同で研究・協議を行った。各校の情報交換と、小中の連携ができた。 教務主任会では、行事、その他各校の情報交換をした。様々な取組があったが、会議の短縮化など取り入れられるところは取り入れていきたい。 行事が少しずつコロナ前に戻りつつある。精選してできる所は見直し、新しい持続可能な形にしていきたい。							ブロック内 評価後の 気付き			
学校関係者 評価	地域行事への児童の参加がふえたことは大変よかった。学校と家庭・地域が一体となって子どもの成長を見守ることができた。防災訓練も地域と学校が一緒に行えたこともよかった。今後も継続していきたい。スクールサポーター制度を発足させたので、PTAとしても協力できることはしていきたいと考えている。学校が行っている取組も発信してもらえるとよい。支援の必要な児童の増加に伴い、特別支援教室の充実を図っていきたい。							学校関係者 評価			
中期取組 目標 振り返り	コロナ禍でこれまで色々な制限が少しずつかけられてきていたが少しずつ日常が戻りつつある。見直しを行いながら日常を取り戻せたらよい。 総合などで地域と連携した授業作りが今後の課題である。生活・総合などで地域の特色を生かした授業作りをおこなっていきたい。地域に向けた情報発信・連携をしていく必要がある。							中期取組 目標 振り返り			